

平成31年第1回羽島市国民健康保険運営協議会（会議要旨）

日 時	平成31年 2月20日（水） 午後1時30分～午後2時20分
場 所	羽島市役所 本庁舎委員会室
出席者	<p>（委員）出席者9名 大川眞智子委員、岩田悟委員、後藤聖子委員、河合悟委員、小川徹委員、老田美智子委員、今井田朋美委員、大橋忠廣委員、小守達夫委員</p> <p>（事務局）出席者10名 松井市長、松原市民部長、林税務課長、吉村収納課長、田中保険年金課長、佐藤保険年金課長補佐、箕浦保険年金課医療保険担当課長補佐、赤嶺子育て・健康課健康増進係長、堀部保険年金課主事、星野保険年金課主事</p>
内 容	<p>1 市長挨拶</p> <p>2 会議録署名委員の指名 岩田委員、小川委員</p> <p>3 議事</p> <p>（1）羽島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）について事務局より平成31年度国保事業費納付金等の確定額及び税条例の一部改正について説明し、原案のとおり承認。</p> <p>（2）平成31年度羽島市国民健康保険特別会計予算（案）について事務局より予算（案）について説明し、原案のとおり承認</p> <p>（3）その他 事務局より5月に予定しているタウンミーティングについて報告。</p> <p>＜質疑応答等＞</p> <p>（委員） 平成34年度以降の公費投入の予定は。</p> <p>（事務局） 今回の公費投入は、賦課方法を3方式へ変更することに対する保険税への影響を緩和するための措置である。公費投入が終了するまでに、平成34年度以降の公費投入の有無を含めて、基金や繰越金の活用方法について事務局から本協議会へ提案をしたい。</p> <p>（委員） 情報提供事業について、医療機関の保有する健診データを提供するだけで特定健康診査として扱われるのか。</p> <p>（事務局） 不足している項目は医療機関で検査し、医療機関の保有する健診データとあわせて特定健康診査として扱う。</p>

(委員) 収納率向上に向けた取組について。

(事務局) 平成30年度はスマートフォンからのクレジットカード納付を全国で4番目に開始し、納付方法を拡大した。平成31年度は新規滞納者を増やさないために、これまで以上に早期催告に努めていく。

(委員) 平成31年度歳入予算のうち、県支出金が平成30年度と比較して増額となった要因は。

(事務局) 主として特別調整交付金について、廃止となった経営努力分について当面の間は経過措置により交付が受けられることとなったため、予算額を増額している。

4 答申書

議長から市長に答申書を交付。

5 閉会